D#0	議員名		→+>無明百口 (十中相 <del>非</del> )	古集田
日程	22.02 1 =		主な質問項目(太字掲載)	掲載頁
12 月 7 日	霞 惠	<b>介</b>	地場産業(農業)の取り組み、視覚に障害のある人の安心・安全	4
	梶 泰	久	認知症対策、 <b>認知症の早期対応</b> 、MCI、軽度認知障害	4
	渡部一二	実	お <b>産応援タクシー</b> 、高尾山古墳の保存と都市計画道路整備の両立	5
	加藤 元	漳	<b>市立図書館のアウトソーシング化</b> 、行政改革の取り組み	5
	髙橋 達	世	<b>市立病院の経営改善</b> 、スクールカウンセラーの中立性	5
	渡邉 博	夫	地方公務員法、 <b>人事評価の活用</b> 、市民サービスの向上、人材育成	5
	加藤明	子	リノベーションまちづくり、ふるさと納税、市民協働と公民連携	6
	小澤	隆	中学校・高校での模擬選挙、退職自衛官の採用	6
12 月 8 日	長田吉	信	行政の個人情報の取り扱い、戸田地区の地域活性化	6
	城内	務	<b>障害者差別解消法</b> 、食料・農業・農村基本計画	6
	片岡 章	<u>i</u> —	<b>消防団</b> 、マイナンバー制度	7
	山下富美	子	<b>障害のある人の雇用促進</b> 、福祉的就労促進の進捗、非常用電源の確保	7
	殿岡	修	<b>鉄道高架事業</b> 、クリーンセンターの管理状況	7
12 月 9	江本 浩	<u></u>	沼津市地球温暖化対策実行計画	7
	水口	淳	<b>戸田地区のバス路線</b> 、戸田地区の振興、戸田小中学校の教育	8
	лп =	男		8
Á		-23		



第三回(十一月) 十七人の議員が市政について質問しました。 定例会では

## 認知症の早期診断・早期対応のための 取り組みは 知

医療従事者以外でも手軽に使用でき

容

①本市における取り組みは。

2

易に認知症を発見できるシステムを るスクリーニング機器を導入し、 早期診断・早期対応が重要と考える

症状の進行を阻止できることから、

で発見し、予防対策を行うことで、

問認知症は、

軽度認知障害の段階

の早期

応

期対応のための取り組みとして、 療を促し、予防が必要な方には認知 それのある方には早期受診・早期治 団認知検査等を実施し、認知症のお 構築する考えは。 福祉事務所長/①早期診断·早 集

今後は、スクリーニング機器の導入

な仕組みづくりが必要であると考え、

まざまなシーンでの早期発見が可能

初期集中支援チームの業務など、さ

地域包括支援センター、認知症

システムの構築について、他市等の も含め、認知症の早期発見が可能な

先進事例を参考に研究していく。

症予防教室等への参加を呼びかけて

## 本市の農業の強化に向けた 取り組みは

経営基盤の強化につながる農地中間 そのため、農地の利用集積を図り、 争力を高めていくことが必要である。 の高い農産物の創出など、農業の競 る中、農業経営の効率化や付加価値 耕作放棄地の増加などの問題を抱え の価格の低迷、これらを要因とした 高齢化や減少、担い手不足、農産物

者の育成対策は。 化に向けた取り組みは。②若手農業 必要と考えるが、①本市の農業の強 な影響を及ぼすと想定され、対策が の参加は、本市の農業にもさまざま 産業振興部長/①農業従事者の 環太平洋経済連携協定TPPへ

> 農薬の使用等による環境負荷の軽減 る。また、今後においては、化学肥料 生産基盤整備事業などを実施してい

に配慮した環境保全型農業を推進

県や農業団体と連携し、就農希望者 強化に取り組む農業者が行う、農業 るまでの間の支援、また、営農力の 度による、就農後の経営が軌道に乗 消のさらなる推進を図っていく。 るとともに、六次産業化及び地産地 体育成支援事業を実施している。 機械や施設導入などを支援する経営 へのアドバイスや青年就農給付金制

用は、 いる。 ている。また、 症対策として、 とから、早期対応が求められる認知 リーニング機器や簡単な問診票の活 医療受診への動機づけとなるこ 容易に認知症の簡易判定がで ②認知症検査を行う際のスク 高齢者の集まる場所 有効であると認識し 梶

管理事業や、ミカンの生産性向上を 霞 惠介

図るため、農道などを整備する農業

場

取り

組

ぬまづ市議会だより No. 209 \* 4